



大競争時代に向けて

代表取締役副社長
坂東 邦彦

技報第5巻1号の発行に当り一言ご挨拶申し上げます。

昨今の経済情勢は一部の金融機関の行き詰まり等により非常に複雑な様相を呈しております。結果的には、新聞紙上いところの政策不況の色彩が強く出てきており、特殊鋼の生産も急速に落ち込んできております。また昨年後半からの東南アジアの金融不安も東南アジア向け輸出をはじめいろいろな意味で日本経済に大きな影を落としています。

特殊鋼の生産量はここ数年1600万トン／年程度で推移しております。しかし特殊鋼の生産はこれまでのいわゆる特殊鋼専門メーカーのほか、普通鋼高炉メーカー、普通鋼電炉メーカーの進出があり、品質、価格、納期等あらゆる面でメガコンペティションの時代になっております。そのような中で生き残るには優れた技術によりユーザーの方々から絶対の信頼（CS：お客様の満足度）をいただくことが最重要と考えております。

当社は現在第3次中期計画を実行中ですが、その中で人材の育成を一つの柱としており、この度の組織改正で企画職についてはグループ制を採用するとともに、各部にプロ・スタッフを置き、組織の効率的運用とともに人材の育成を図っております。特に研究部門の強化は、今後ますます多様化しレベルアップするユーザーニーズに的確かつ迅速に対応するために重要であり、21世紀の当社の飛躍の原動力となるものであります。

技術の飛躍的な向上というものは容易に期待できるものではありません。まさに新製品開発に、プロセス改善に、一步一步積み上げることが重要です。製販一体となってユーザーニーズに応えていきたいと思っております。皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。